令和６年３月２１日

**「第３次日野市自殺総合対策基本計画（素案）」に関するパブリックコメントの結果報告について**

　「第３次日野市自殺総合対策基本計画（素案）」の策定に関し、パブリックコメントを実施いたしました。多くのご意見をいただき誠にありがとうございます。その結果について、以下に報告します。

**１　意見募集期間**

令和６年（２０２４年）１月５日（金）～令和６年（２０２４年）２月５日（月）まで

**２　周知方法**

* 市の広報紙である「広報ひの」の令和６年１月号に掲載しました。
* 市のＨＰに令和６年１月５日から掲載しました。

**３　素案の掲示方法**

（１）市のＨＰに、令和６年１月５日から令和６年２月５日までの間、電子データを掲示しました。

（２）健康課窓口、 七生支所、 豊田駅連絡所、市内の各図書館に、閲覧用の素案を掲示しました。

**４　意見の提出方法**

健康課へ持参、郵送、ＦＡＸ、電子メール

**５　意見の件数**

意見人数　２名　意見数２件

**６　ご意見と市の考え方**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項番 | 該当ページ | ご意見（原文） | 市の考え方 | 計画への反映 |
| １ | P17 | （重点）女性の自殺対策を更に推進する ①妊産婦への支援の充実について意見：妊産婦への支援の充実と**情報へのアクセシビリティ向上**妊娠したときに日野市からたくさんの資料をいただいた。孤立を防ぐための事業、育児のサポートなどさまざまな取り組みのいろんなサイズのチラシや冊子がどっさりあり、目を通すのも正直しんどかった。また産後は睡眠不足と体の激痛のなか、使いたいときにチラシを見つけることが困難だった。このような理由で、情報へのアクセシビリティ向上について一考してほしい。例えば、「日野っ子の子育て子育ち知っトクハンドブック」に情報を集約し、東京都の防災冊子のように図解やページ数を増やしてもっと読みやすくしてほしい。またアクセスのしやすさで言うと、産婦人科・小児科オンライン健康相談は、LINEからいつでも質問を投稿できるので、とても感謝している。子供がいると、自分の産褥期を安静に過ごすことは難しいし、病院に行くのも億劫だったので、活用し、安心できた。 | ご意見ありがとうございます。アクセシビリティの向上は、妊産婦への支援だけではなく、他の各事業でも課題だと認識しています。特にご指摘いただいた点は、多すぎる情報の中から、大事な情報をどう分かりやすく伝えていくか、という大事な視点と存じます。ご意見いただいた内容については、自殺対策の計画としてではなく、関連部署、各事業で検討してまいります。 | 市の考えは左記のとおりです。ご意見として承り、計画への反映はございません。 |
| ２ |  | 多岐にわたり支援対策が行われていたことを今回初めて知りました。不安や問題解決の相談は自殺対策で市町村でだれでも安心して利用できる大切なことだと知りました。市町村の活動を年に１度だけではなくもっと知れる機会があると（負）の状態の方に手が届くこともあるのかもしれないと思いました。また、生きるヒントとしてTVやラジオなどで元気をもらうことがありますが、経験談などを話されるといろいろな考えがあると思えたりします。そのようなことを聞ける、知ることができる機会が増えるといいのではないかと思いました。知人の死は、「もし」や「もうすこし」など考えることがあります。その方たちに機会がたくさんできるようにもっとなってほしいと思います。 | ご意見ありがとうございます。自殺対策に必要なことは、支援対策だけでなく、周知啓発も重要であると考えております。その中でも、具体的な経験談は市民の方に身近で実感の湧くものかと存じます。経験談については、既に事業NO６０「わかち合いの会の実施」にて、家族や友人など、身近な人を自死（自殺）で失った方がつどい、それぞれの体験や気持ちを安心して語り合い、聴き合う場である「わかち合いの会」を年10回、また「トーク&交流会」として身近な人を自死（自殺）で亡くした方々の言葉に耳を傾け、周囲はどのように支えることができるのか一緒に考える会を年2回、多摩市と連携して実施しています。今後支援が必要な方やその周囲の方へ情報が届くように、周知を強化していきます。 | 市の考えは左記のとおりです。 |

**７　所管部署**

健康福祉部　健康課

**８　問合せ先**

健康福祉部健康課　電話番号　０４２－５８１－４１１１